

平成29年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧な純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

乳幼児期にふさわしい生活が展開されるように、大人との信頼関係に支えられた生活、興味関心に基づいた直接的な経験が得られる生活、友達と十分に関わって展開する生活がなされるように配慮した指導計画を作成した。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、自己発揮できるような保育を目指していく。	保育計画・実践を通して保育の充実を色々な形で深めてきた。特に食育活動や自然体験、森の活動等には積極的に取り組み、子どもの興味関心が広がった。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修を充実させるとともに外部の研修にも参加する。	乳幼児期の発達を捉えるために各分野の研修会に参加した。また、園内研修を定期的実施し、日々の乳幼児の姿や保育者の関わりについて話しをする機会を多く持つようにし、具体的な場面について理解を深めた。
日々の健康観察や疾病予防のための取り組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	衛生用品や防災用品の点検の徹底、毎月の防災訓練、看護師による日々の健康観察や保健指導、環境整備等を実施した。今後も更なる徹底と計画的な取り組みを実践していく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員全体が課題の重要性を理解し、積極的に研修に参加したり、園内研修を計画的に行いながら、教育・保育の充実に努めた。今後も客観的に自らの教育・保育を振り返り、あらゆる職種の職員配置があることを強みにし、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。施設面では昨年に引き続き環境整備に力を入れており、子ども達が安心して遊べる環境になるように努めてきたので今後も継続して行っていく。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	認定こども園教育・保育要領の理解、教育保育計画・内容の検討、環境構成など職員間の連携を深め、職員全体で研究に取り組み、より良い教育・保育が行える体制を充実させる。また、一人ひとりの成長発達に合わせた細やかな配慮ができるよう職員間の共通理解を深めていく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	生活の中で起こりうる事故について職員全体で把握し、ヒヤリハット記録の活用や研修を積みながら怪我の対応や子どもの命と安全を守る行動が出来るしっかりとした園の体制を見直す。また子どもの生活を大切に、生活習慣の見直しや衛生管理等に配慮し、安心安全な生活について考えていく。
子育て支援への取り組み	保育教諭・栄養士・看護師などそれぞれの職種を生かしながら、在園家庭はもちろん地域の子育て家庭に向けても必要な情報提供や相談などを行ない、安心して子育てが行なえるような地域づくりに努めていく。 また、特別な支援が必要な子どもに対し、適切な指導や援助、関わりが持てるよう専門機関と協力しながら指導計画を作成し、実践していく。

6. 学校関係者の評価

学校関係者より、認定こども園運営は良好とのご意見をいただいた。自己評価を行い、職員全員が課題に取り組む中で、よりよい保育を行おうという向上心が見られるとの評価もいただいた。